

器25 医療用鏡
一般医療機器 歯鏡（コード：31776000）

高反射ミラートップ

【形状・構造及び原理等】

- 形状
ミラーヘッド部と柄部で構成される手持型の歯鏡のヘッド部。ミラーハンドルに接続して使用する。
- 原材料
 - 高反射ミラートップ
ガラス、ステンレス
 - 高反射ミラートップ プラスチックヘッド
ガラス、プラスチック、ステンレス

【使用目的又は効果】

口腔内診査又は圧排のために用いる。

【使用方法等】

- 使用する前に本品が滅菌済かどうかを確認する。
- 本品をミラーハンドルに接続する。
- 先端のミラー部により、口腔内の状態を診察、検査または圧排を行う。

【使用上の注意】

- 使用前に必ず洗浄・滅菌をすること。
- 使用前にミラーハンドルに確実に装着されているか確認すること。
- 損傷、変形(錆、表面キズ、曲がり)、汚染等のあるものは使用しないこと。
- 破損等の原因となるので、以下は行わないこと。
 - 粗雑な取り扱いをすること。
 - 器具に対して曲げ、切削、打刻(自分の名前を入れる)等の二次加工(改造)をすること。
 - 使用時に必要以上の力(応力)を加えること。

【保管方法及び有効期間等】

- 滅菌後はほり及び水気のない場所で、直射日光を避けて保管すること。
- 腐食性薬剤及びその蒸気を避けること。
- 外圧(物理的負荷)及び汚染を受けないように保管すること。
- “もらいさび”を防ぐため、錆びている器具と一緒に保管しないこと。

【保守・点検に係る事項】

- 使用前・使用後に、破損、ヒビ、傷、変形、変色、腐食等がないか確認すること。これらがある場合は使用を中止すること。
- 使用後は、できるだけ早く精製水、防錆洗浄剤を用いて器具に付着した血液、体液、組織片を速やかに除去し、洗浄・消毒すること。
- 錆びや傷の原因となるので、洗浄の際、磨き粉や金属ウール、金ブラシは使用しないこと。
- 家庭用洗剤は金属を腐食させる事があるので、使用しないこと。洗浄には歯科器具用防錆洗浄剤(中性)を使用し、酸性またはアルカリ性の洗浄剤は使用しないこと。
- 洗剤の残留がないよう十分にすすぎをし、完全に乾燥させてから滅菌器に入れること。
- 薬剤消毒を行う時は、薬剤の添付文書に書かれた使用上の注意を守ること。薬剤の種類によっては、金属素材に影響を及ぼすことがある。特に、長時間の浸漬は避けること。
- 洗浄、消毒、滅菌にはできるだけ精製水を使用すること。水道水を使用すると塩素イオンの影響で器具が腐食する事がある。
- オートクレーブ滅菌器を使用する際は、135℃以下を厳守し、乾燥温度に注意すること。高温の乾燥は、器具が変質または変色することがある。なお、ケミクレーブはしないこと。
- 洗浄、消毒、滅菌後の器具は水分を除去し、充分乾燥させてから保管すること。水分が付着したまま長時間放置すると、錆び、シミ等の原因となることがある。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

株式会社 ピーディーアール

愛知県名古屋市中白区原4-106